

では、イギリスの大学院は？（2-2）

- にもかかわらず、博士は修士よりも、修士は学士よりも、就職に有利
 - 2007年度修了者の失業率：博士3.1%；修士3.7%；学士5.5%
 - 2007年度修了の博士のうち、教育セクター（主として高等教育）就労者は49.3%
Source: Vitae, *What do researchers do?: First destinations of doctoral graduates by subject*, Vitae, CRAC.
<http://www.vitae.ac.uk/CMS/files/upload/Vitae-WDRD-by-subject-Jun-09.pdf>
 - 給与も高学歴ほど高い（博士>修士>学士）
 - 博士は学士より平均3,500ポンド高い給与、修士は学士より平均2,000ポンド高
Source: Vitae, 2009, *Recruiting researchers: survey of employer practice 2009*, Vitae, CRAC.
http://www.vitae.ac.uk/CMS/files/upload/Recruiting_researchers_employer_survey_2009.pdf
 - 2007-08修了者の平均給与：大学院修了者23,500ポンド；学部卒業生19,000ポンド
Source: Department for Business, Innovation and Skills, 2010, *One Step Beyond: Making the most of postgraduate education*. <http://www.bis.gov.uk/assets/BISCore/corporate/docs/010704one-step-beyond-postgraduate-education.pdf>
 - 特に博士を雇用対象として重視する産業分野
 - 専門知識を求めて雇用する分野：製薬、研究開発等
 - 高度な汎用的スキルを求めて雇用する分野：金融、経営コンサルタント等
Source: Jackson, Charles, 2007, *Recruiting PhDs: What works?*, UK GRAD Programme.
<http://www.vitae.ac.uk/cms/files/UKGRAD-Recruiting-PhDs-what-works-Mar-2007.pdf>
- ⇒ 英国(米国)は日本よりも、教育・雇用の知識経済への適応が進んでいる可能性

2010年6月14日

Copyright (C) 2010 Fujio Ohmori

38

グローバル化する知識社会に日本を 適応させるプロフェッショナルの育成

- 大学の強みである学術知(明示知)を活かし、組織を超えて通用する自身の「知」= 普遍的知識技能(明示知)を持ったプロフェッショナル(知的職業人)を養成する
- 処方箋のある問題に対するノウハウのスキルよりも、前例のない課題に直面した際に自らの知の引き出しを総動員しつつ洞察力・先見性を発揮できる高度な知性の鍛錬
- 学問を基盤としたリフレクションが社会人学生に評価されていることから、実践的ノウハウ一点張りではなく、学術的・容観的知見をもって、一定の距離を取りながら自らの実践を見直す学習の場を提供することが、大学院教育の重要な使命
- プロフェッショナルの流動性(転職の容易さ)を後押し

2010年6月14日

Copyright (C) 2010 Fujio Ohmori

39

21世紀の知の様式と高等教育

深遠な問に対する答の模索: 複雑で矛盾に満ちる

- 「日常の経験による学習とフォーマルな教育との境界」(Young 2008, p. 181)
Young, Michael F.D., 2008, *Bringing Knowledge Back In: From social constructivism to social realism in the sociology of education*, Oxfordshire: Routledge.
- 「フォーマルな教育を通じて獲得できるコード化された知識と経験に基づく知識との食い違い」(ibid, p. 183)
- 「専門職の知識と学術的な知識の最適な関係がどのようなものであり、これを最も良く反映した実践を大学はどのようにして開発できるか。」(Scott, et al. 2004, p. viii)
Scott, David, Brown, Andrew, Lunt, Ingrid & Thorne, Lucy, 2004, *Professional Doctorates: Integrating Professional and Academic Knowledge*, Berkshire: Open University Press.

2010年6月14日

Copyright (C) 2010 Fujio Ohmori

40

熊本大学 教授システム学専攻の取組 (文科省「大学院教育改革支援プログラム(大学院GP)」採択)



2010年6月14日

Copyright (C) 2010 Fujio Ohmori

41

新科目「職場課題実践研究」の成果 実践知・学術知対話型大学院教育の成立条件

- 職場の理解、協力・支援
 - 「職場課題実践研究」の意義に対する職場の理解と協力・支援
- 2. 職場課題の共有
 - 職場課題が生起している文脈についての担当教員の理解・共有
- 3. 教員の手厚い指導
 - 開講中、1~2時間/週の教員ミーティングを実施
- 4. 教員の汎用的な知の技法による指導
 - 職場課題の概念化、調査・分析の方法、省察についての指導能力
- 5. ICTの有効活用
 - 学習・指導及び大学・職場間連携のためのICTの有効活用

2010年6月14日

Copyright (C) 2010 Fujio Ohmori

42

大学教育の真の課題

学習しなければ
学習成果があるはずがない

2010年6月14日

Copyright (C) 2010 Fujio Ohmori

43

産業界は大学に満足しているか？

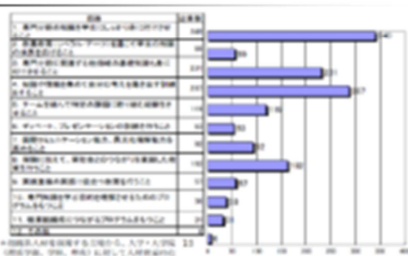
- もちろん不満である
- だが、そもそも、大学教育に何を期待しているのか？

2010年6月14日

Copyright (C) 2010 Fujio Ohmori

44

知の不適合：経済界の求める人材像と大学教育(4-3) 企業側の理系大学・大学院に対する期待



出典：日本経済団体連合会教育問題委員会「企業の求める人材像についてのアンケート結果」(2004年11月8日) p.13
2010年6月14日 Copyright (C) 2010 Fujio Ohmori 45

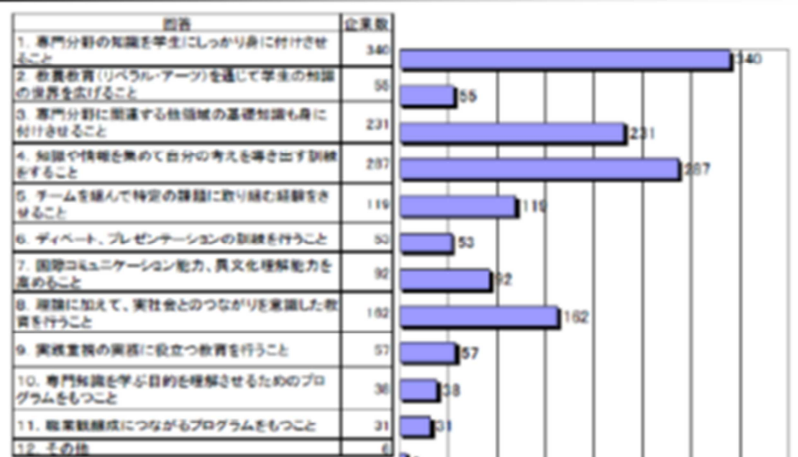
知の不適合：経済界の求める人材像と大学教育(4-4) 理系大学・大学院が教育面で特に主力している点



注：各項目に大学が回答したところ、第1号(理系)は第1号～第10号(理系)から回答が得られ、第11号、第12号は、理系大学以外の大学が回答したところから得られた。第12号は、上記の期待から3つまで回答した回答。

出典：日本経済団体連合会教育問題委員会「企業の求める人材像についてのアンケート結果」(2004年11月8日) p.14
2010年6月14日 Copyright (C) 2010 Fujio Ohmori 46

知の不適合：経済界の求める人材像と大学教育(4-3) 企業側の理系大学・大学院に対する期待



*技術系人材を採用する立場から、大学・大学院(理系学部、学科、専攻)に対して人材育成の点で何を期待するか、520社に質問(3つまで回答)。

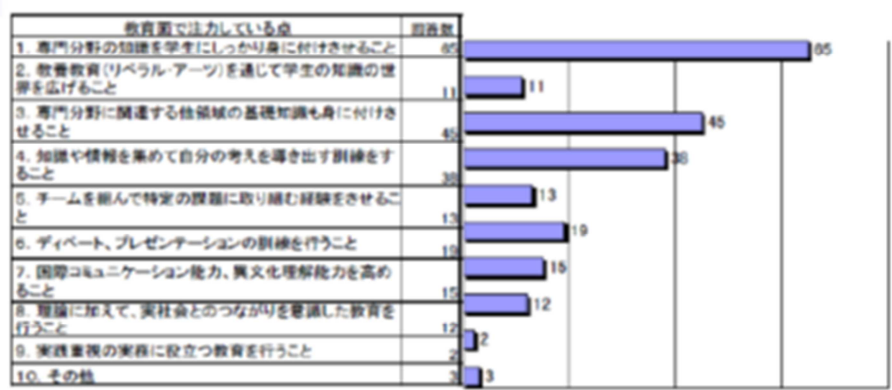
出典：日本経済団体連合会教育問題委員会「企業の求める人材像についてのアンケート結果」(2004年11月8日) p.13

2010年6月14日

Copyright (C) 2010 Fujio Ohmori

45

知の不適合：経済界の求める人材像と大学教育(4-4) 理系大学・大学院が教育面で特に注力している点



(注) 全国の20大学を対象に調査したところ、16大学(理系は39学部・37研究科)から回答を得た。学部生と、修士課程修了後、博士課程に進学せず就職する院生への教育に当たり、特に注力している点について、上記10項目から3つまで選択した結果。

出典：日本経済団体連合会教育問題委員会「企業の求める人材像についてのアンケート結果」(2004年11月8日) p.14

2010年6月14日

Copyright(C) 2010 Fujio Ohmori

46

知の不適合：経済界の求める人材像と大学教育(4-1) 企業側の文系大学・大学院に対する期待



出典：日本経済団体連合会教育問題委員会「企業の求める人材像についてのアンケート結果」(2004年11月8日) p.12
2010年6月14日 Copyright(C) 2010 Fujio Ohmori 47

知の不適合：経済界の求める人材像と大学教育(4-2) 文系大学・大学院が教育面で特に注力している点



(注) 全国の20大学を対象に調査したところ、2大学(文系は42学部・13研究科)から回答を得た。学部生と、修士課程修了後、博士課程に進学せず就職する院生への教育に当たり、特に注力している点について、上記10項目から3つまで選択した結果。

出典：日本経済団体連合会教育問題委員会「企業の求める人材像についてのアンケート結果」(2004年11月8日) p.14
2010年6月14日 Copyright(C) 2010 Fujio Ohmori 48

企業が正しく、 大学が間違っているのか？

- 大学は間違っている！
 - 卒業生・修了者の出口(就職)を考えた教育になっていない
 - 専攻分野に関する知識技能の体系的教育も不十分
- 企業も間違っている！！
 - 際立つ日本企業の大学教育軽視
 - ・・・日本特有の言説「大学教育は役に立たない」等
 - ⇨欧米企業は採用に当たり大学の成績も重視、大学院優遇
 - 就活の早期化のため、2年半の大学教育に成果を問えるか？
 - 企業の姿勢が大学教育に免罪符を与えている側面も
 - 日本企業は知性(批判的思考力)を求めているのか？

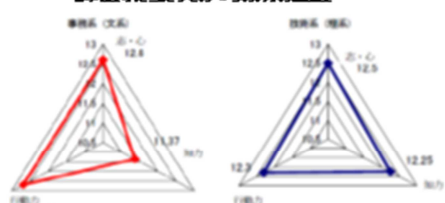
2010年6月14日

Copyright(C) 2010 Fujio Ohmori

49

日本企業の言い分に従えば 文系に学問・知性は要らない？

業界職者に当たっての「3つの力」の相対性



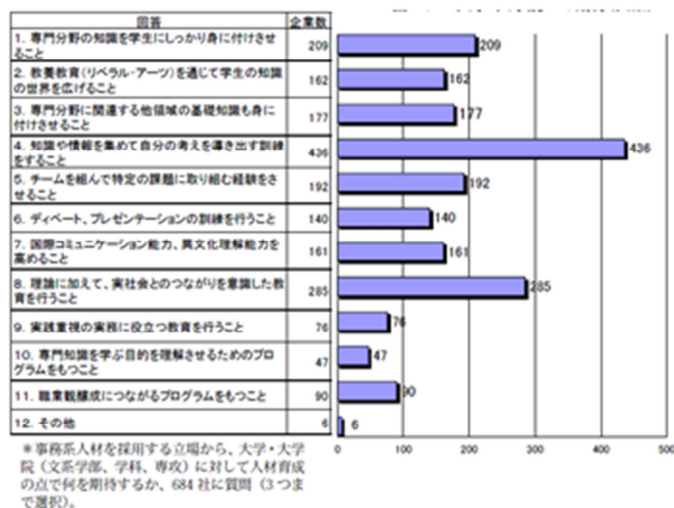
出典：日本経済団体連合会教育問題委員会「企業の求める人材像についてのアンケート結果」(2004年11月8日) p.14
<http://www.fujio-ohmori.com/wordpress/wp-content/uploads/2009/06/20041108.pdf>

2010年6月14日

Copyright(C) 2010 Fujio Ohmori

50

知の不適合：経済界の求める人材像と大学教育(4-1) 企業側の文系大学・大学院に対する期待



出典：日本経済団体連合会教育問題委員会「企業の求める人材像についてのアンケート結果」(2004年11月8日) p.13

2010年6月14日

Copyright (C) 2010 Fujio Ohmori

47

知の不適合：経済界の求める人材像と大学教育(4-2) 文系大学・大学院が教育面で特に注力している点



(注) 全国の20大学を対象に調査したところ、16大学(文系は45学部・49研究科)から回答を得た。学部生と、修士課程修了後、博士課程に進学せず就職する院生への教育に当たり、特に注力している点について、上記10項目から3つまで選択した結果。

出典：日本経済団体連合会教育問題委員会「企業の求める人材像についてのアンケート結果」(2004年11月8日) p.14

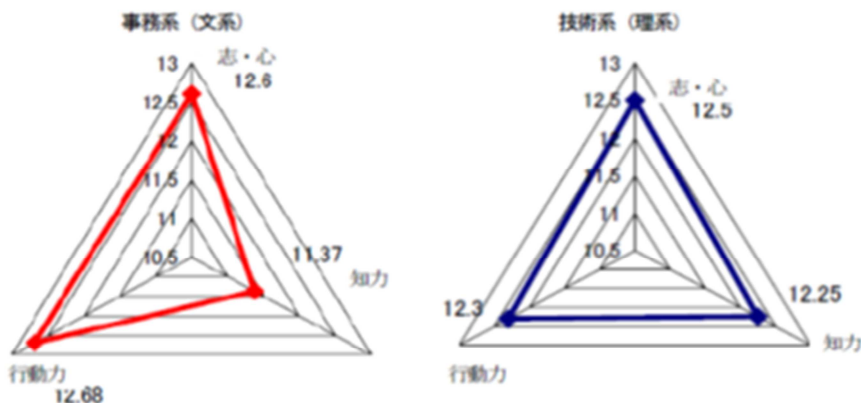
2010年6月14日

Copyright (C) 2010 Fujio Ohmori

48

日本企業の言い分に従えば 文系に学問・知性は要らない？

採用選考に当たっての「3つの力」の重視度



出典：日本経済団体連合会教育問題委員会「企業の求める人材像についてのアンケート結果」（2004年11月8日）p.6
<http://www.keidanren.or.jp/japanese/policy/2004/083.pdf>

2010年6月14日

Copyright (C) 2010 Fujio Ohmori

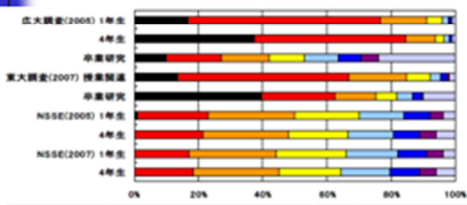
50

大学教育は役に立たない：日本の常識は世界の非常識 大学等で学んだ知識技能を仕事でどの程度使うか —日欧大卒者調査における回答— (%)

	日	米	独	仏	伊	西	瑞	露	芬	欧
1 非常に高い程度に	9	23	14	6	19	21	30	36	35	22
2	13	27	29	22	30	27	32	38	34	31
3	30	26	34	35	30	27	26	21	19	28
4	31	17	20	28	15	19	11	5	10	15
5 全く使わない	16	8	3	8	6	6	1	0	1	4

出典：Schomburg & Teichler (2006, p. 107) の Table 9.3 より作成
 Schomburg, Harald & Teichler, Ulrich. 2006. Higher Education and Graduate Employment in Europe: Results from Graduate Surveys from Twelve Countries. Corbridge, Springer.
 2010年6月14日 Copyright (C) 2010 Fujio Ohmori 51

勉強しない大学生：日本の常識は世界の非常識 授業外学習時間の日米比較



本資料 2008 「授業時間外学習の時間」日本学生調査報告書第11回大卒版 (© 東北大学、© 2008 東北大学教員より作成) <http://www.faplib.nyu.edu/~yukimaru/teaching/2008/08/20080824.pdf>
 2010年6月14日 Copyright (C) 2010 Fujio Ohmori 52

勉強しないのは 大学に始まったことではない

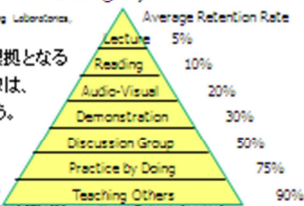
日本の高校生は、中国の高校生に比べて授業・宿題以外の勉強をしない。こんな内容の調査報告書が、文部科学省など所管の財団法人「日本青少年研究所」などが7日、公表した。日中に加え韓国、米国の計4か国の高校生にアンケートを行った結果、日本は「授業と宿題以外の勉強をしない」「授業中は居眠りをする」と答えた高生生の割合が突出して多かった。... 報告書によると、授業・宿題以外の勉強を「しない」と答えた高生生の割合は日本がトップ、高1で38・3%、高2で34・8%、高3で28・8%に上った。一方、中国では7・7~5・3%といずれも1割に満たなかった。米国では27・1~15・1%、韓国は21・8~11・4%と中国よりは割合が高かったが、日本よりは低かった。
 MSN産経ニュース (2010.4.7) より
<http://sankei.jp/mega/article/100407/edu100407143007-n1.html> より

2010年6月14日 Copyright (C) 2010 Fujio Ohmori 53

学習者中心主義の神話

有名な "Learning Pyramid"

出典は、National Training Laboratories, Bethel, Maine
 とされる。だが、根拠となる実証研究やデータは、見つからないという。



出典：National Training Laboratories, Bethel, Maine
<http://www.natlabs.com/learningpyramid.htm>
<http://www.faplib.nyu.edu/~yukimaru/teaching/2008/08/20080824.pdf>
 2010年6月14日 Copyright (C) 2010 Fujio Ohmori 54

大学教育は役に立たない：日本の常識は世界の非常識
 大学等で学んだ知識技能を仕事でどの程度使うか
 —日欧大卒者調査における回答— (%)

	日	英	独	仏	伊	西	瑞	諾	芬	欧
1 非常に高い程度に	9	23	14	6	19	21	30	36	35	22
2	13	27	29	22	30	27	32	38	34	31
3	30	26	34	35	30	27	26	21	19	28
4	31	17	20	28	15	19	11	5	10	15
5 全く使わない	16	8	3	8	6	6	1	0	1	4

出典：Schomburg & Teichler (2006, p. 107) のTable 9.3より作成

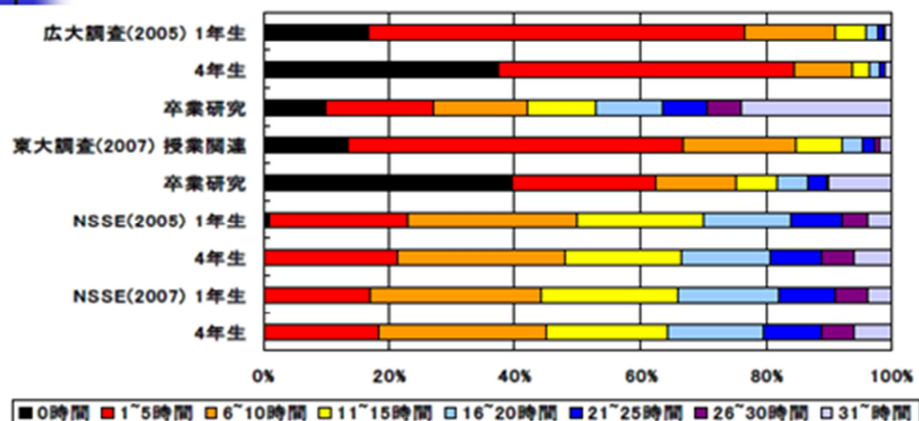
Schomburg, Harald & Teichler, Ulrich, 2006. *Higher Education and Graduate Employment in Europe: Results from Graduate Surveys from Twelve Countries*, Dordrecht: Springer.

2010年6月14日

Copyright(C)2010 Fujio Ohmori

51

勉強しない大学生：日本の常識は世界の非常識
 授業外学習時間の日米比較



串本剛 2008「授業時間外学習の効用」日本高等教育学会第11回大会(於：東北大学、5/24)発表資料より
<http://www.she.he.tohoku.ac.jp/kushimoto/images/080524.pdf>

2010年6月14日

Copyright(C)2010 Fujio Ohmori

52

評価モンスターの一例

国立大学法人の教育研究評価 (平20): 評価書類とその分量

●熊本大学: 総計1,099頁

- 評価結果: 計134頁
 - ・中期目標の達成状況に関する評価結果: 7頁
 - ・学部・研究科等の教育に関する現況分析結果: 72頁
 - ・学部・研究科等の研究に関する現況分析結果: 50頁
 - ・意見の申立て及びその対応: 5頁
- 実績報告書: 計965頁
 - ・中期目標の達成状況報告書: 247頁
 - ・学部・研究科等の現況調査表(教育): 498頁
 - ・学部・研究科等の現況調査表(研究): 189頁
 - ・実績報告書正誤表: 31頁

大学評価・学位授与機構 Webサイトより
http://www.ned.ac.jp/n_hyokaku/kokunisu/hyokakeikei/kyushu_okinews/index.html#81

*一般国民が読むはずがない。当該大学教員すら・・・
 → アカウンタビリティや自己改善に役立つのか?

2010年6月14日 Copyright (C) 2010 Fujio Ohmori 52

成果を「評価」することよりも「成果」を上げることの方が大切

- 教育においては、賞罰に帰結するハイステーク評価(総合的評価)は、客観的な測定が妥当かつ可能な領域に限定すべき。主観的たらざるを得ない幅広い領域の評価は、自己改善のための評価(形成的評価)にとどめる。学習者(人)の評価も、教育機関(組織)の評価も同様。
- 職場における人の評価については、納得いかなければ転職するという選択肢(逃げ場)が必要。
- いずれにせよ、評価自体を自己目的化せず、人や組織が成果を志向して前向きになるようなインセンティブを与えることが重要。

2010年6月14日 Copyright (C) 2010 Fujio Ohmori 54

評価モンスターの一例

国立大学法人の教育研究評価 (平20): 評価書類とその分量

●熊本大学: 総計1,099頁

- 評価結果: 計134頁
 - ・中期目標の達成状況に関する評価結果: 7頁
 - ・学部・研究科等の教育に関する現況分析結果: 72頁
 - ・学部・研究科等の研究に関する現況分析結果: 50頁
 - ・意見の申立て及びその対応: 5頁
- 実績報告書: 計965頁
 - ・中期目標の達成状況報告書: 247頁
 - ・学部・研究科等の現況調査表(教育): 498頁
 - ・学部・研究科等の現況調査表(研究): 189頁
 - ・実績報告書正誤表: 31頁

大学評価・学位授与機構 Webサイトより
http://www.ned.ac.jp/n_hyokaku/kokunisu/hyokakeikei/kyushu_okinews/index.html#81

*一般国民が読むはずがない。当該大学教員すら・・・
 → アカウンタビリティや自己改善に役立つのか?

2010年6月14日 Copyright (C) 2010 Fujio Ohmori 53

大学名	総合評価	学業	研究	社会貢献	国際化	学生生活	その他
北海道	43.91	50	0	0	0	0	0
青森	43.80	100	0	0	0	0	0
岩手	43.71	50	0	0	0	0	0
宮城	43.39	0	0	0	0	0	0
秋田	43.25	100	0	0	0	0	0
山形	42.95	50	0	0	0	0	0
福島	42.79	150	0	0	0	0	0
茨城	42.75	50	0	0	0	0	0
栃木	42.51	50	0	0	0	0	0
群馬	42.28	150	0	0	0	0	0
埼玉	42.25	50	0	0	0	0	0
千葉	42.07	150	0	0	0	0	0
東京	42.02	150	0	0	0	0	0
神奈川	41.75	150	0	0	0	0	0
新潟	41.75	50	0	0	0	0	0
富山	41.65	50	0	0	0	0	0
石川	41.65	50	0	0	0	0	0
福井	41.50	50	0	0	0	0	0
岐阜	41.36	50	0	0	0	0	0
愛知	41.36	50	0	0	0	0	0
三重	41.31	50	0	0	0	0	0
滋賀	41.31	50	0	0	0	0	0
京都	41.01	150	0	0	0	0	0
大阪	41.00	100	0	0	0	0	0
兵庫	40.86	50	0	0	0	0	0
奈良	40.81	50	0	0	0	0	0
和歌山	40.77	50	0	0	0	0	0
鳥取	40.63	50	0	0	0	0	0
徳島	40.49	50	0	0	0	0	0
香川	40.47	50	0	0	0	0	0
高松	39.75	100	0	0	0	0	0
愛媛	39.75	100	0	0	0	0	0
高知	39.51	50	0	0	0	0	0
福岡	39.50	100	0	0	0	0	0
佐賀	39.42	50	0	0	0	0	0
大分	39.18	50	0	0	0	0	0
熊本	39.01	50	0	0	0	0	0
鹿児島	38.75	150	0	0	0	0	0
沖縄	38.23	750	0	0	0	0	0
山口	38.18	50	0	0	0	0	0
広島	38.00	150	0	0	0	0	0
岡山	37.75	50	0	0	0	0	0
広島	37.75	50	0	0	0	0	0
香川	37.57	50	0	0	0	0	0
徳島	37.30	50	0	0	0	0	0
高松	37.00	50	0	0	0	0	0
愛媛	37.00	50	0	0	0	0	0
高知	36.40	50	0	0	0	0	0
福岡	36.30	50	0	0	0	0	0
佐賀	35.39	700	0	0	0	0	0

全国学力テスト

小・中学校には必要、高校には不相当

- 「私が提唱する全国共通テストは、義務教育段階における教育の機会均等と教育水準の維持向上を担保するため、全国共通にすべての小・中学校において、すべての子どもたちに習得の機会を保障すべき基礎学力を測定する学力テストです。」(大森, 2000, p.145) 大森二雄, 2000 『子ども教育』に「全国学力テストの提唱」を掲載
- 「高等学校においては、学科ごと、学校ごとにカリキュラムが極めて多様化しているため、客観的な学力テストを全学校共通に実施することには無理があります。それ以上に重要なことは、そうした共通テストを行う意義に乏しいと考えます。……資格検定や就職状況などの面で目に見える高い教育成果を上げている職業高校がいくつもありますが、こうした高校に普通科向きの客観的テストを受けさせるのはおかしなことです。逆に普通科高校の生徒に職業科の実技テストを受けさせることを考えれば、そのおかしさがよくわかると思います。」(大森, 2000, p.146)
- 「全国学力・学習状況調査」は、全学校の小6と中3の国語・算数(数学)を対象に2007年から開始されたが、政権交代後の2010年には抽出調査に。

2010年6月14日 Copyright (C) 2010 Fujio Ohmori 55

格差社会

(非流動的で再チャレンジ困難)における

エンプロイアビリティ育成の死活的な重要性

2010年6月14日 Copyright (C) 2010 Fujio Ohmori 56

若者が直面する格差社会 非正規雇用の拡大

今や全雇用者の3割以上を非正規雇用が占める。新卒者も...



出典：内閣府「平成18年版 国民生活白書(要旨)」(平成18年6月20日) p.5

2010年6月14日

Copyright (C) 2010 Fujio Ohmori

57

「雇用流動化」言説の虚妄

- 論争は迷走気味。改革論者と批判論者はともに、「雇用の流動化」が終身雇用を崩壊させつつあるとし、米国型の競争社会をモデルに見立てて論じる。前者はこれを肯定し、後者は批判。だが、両者とも誤っている。
- 米国型に向かう雇用の流動化など起こってはいない。
- 「正社員の転職率は過去15年間ほとんど変わっていない」(『平成18年版国民生活白書』)と政府が認めるように、正規雇用の流動化は見られない。
- 非正規雇用という不安定雇用が増大しただけの「疑似流動化」。

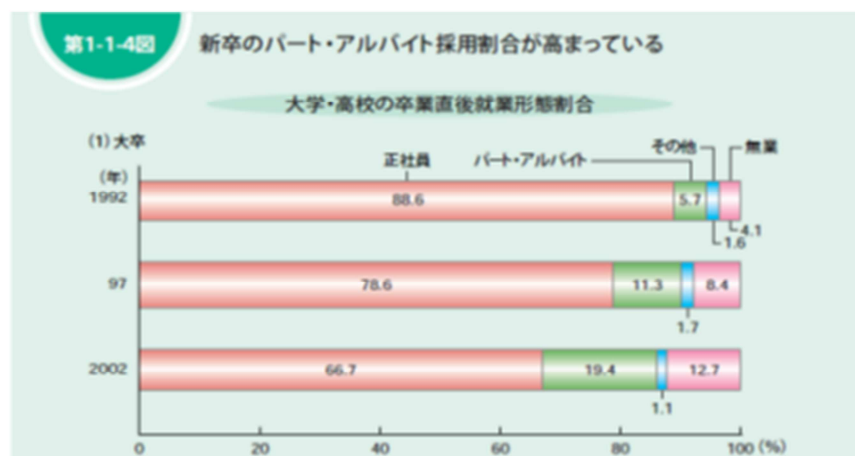
2010年6月14日

Copyright (C) 2010 Fujio Ohmori

58

若者が直面する格差社会 非正規雇用の拡大

今や全雇用者の3割以上を非正規雇用が占める。新卒者も...



出典：内閣府「平成18年版 国民生活白書(要旨)」(平成18年6月20日) p.5

2010年6月14日

Copyright (C) 2010 Fujio Ohmori

67

正規／非正規の壁

- 問題は正規雇用の非流動性にある。
- 欧米の若者が就くパートタイムや有期雇用の職は、将来のフルタイム無期雇用の職につながる経験だが、日本の非正規雇用から正規雇用への転換は容易でない。
- 雇用形態の差異が社会的「身分」と化する。
- 正社員も転職は困難で、「就社した会社の檻」の中の成果主義で閉塞。

2010年6月14日

Copyright (C) 2010 Fujio Ohmori

59

エンプロイアビリティ育成は 大学の社会的責務

- 非流動的な正規雇用+拡大する非正規雇用
- 非正規から正規への転換は容易でない
- 卒業(修了)時の就職が職業人生を左右
- 大学(院)在学中に「エンプロイアビリティ」(雇用に繋がる能力)を育成することが死活的に重要

2010年6月14日

Copyright (C) 2010 Fujio Ohmori

70

しかし、大学教員は「学問」しか育めない
どうやって「エンプロイアビリティ」を？

- 「学問」と「エンプロイアビリティ」は相反するの
か
- 「学問」を通じて「エンプロイアビリティ」を育成
できないのか
- そもそも「エンプロイアビリティ」とは？

2010年8月14日 Copyright (C) 2010 Fujie Okuma 71

エンプロイアビリティ関連用語

- 社会人基礎力 (経済産業省)
- 就職基礎能力 (厚生労働省)
- 学士力 (文部科学省)
- 就業力 (文部科学省)
- Generic Skills
- Competencies; Competence
- Employability

2010年8月14日 Copyright (C) 2010 Fujie Okuma 72

エンプロイアビリティ関連用語

- 社会人基礎力 (経済産業省)
- 就職基礎能力 (厚生労働省)
- 学士力 (文部科学省)
- 就業力 (文部科学省)
- Generic Skills
- Competencies; Competence
- Employability

2010年8月14日 Copyright (C) 2010 Fujie Okuma 73

中教審「学士課程答申」のいう
「学士力」
～学士課程共通の学習成果に関する参考指針～
4-1

1. 知識・理解

専攻する特定の学問分野における基本的な知識
を体系的に理解するとともに、その知識体系の意
味と自己の存在を歴史・社会・自然と関連付けて
理解する。

(1) 多文化・異文化に関する知識の理解
(2) 人類の文化、社会と自然に関する知識の理解

中央教育審議会 2005 『学士課程改革の推進に向けて(答申)』(平成20年12月24日)
F02://www.mec.go.jp/ku/manual/ing/ichikyoshukyo/qaashin/1217001.html

2010年8月14日 Copyright (C) 2010 Fujie Okuma 74

「学士力」 4-2

2. 汎用的技能

知的活動でも職業生活や社会生活でも必要な技能

(1) コミュニケーションスキル
日本語と特定の外国語を用いて、読み、書き、聞き、話すことができる。

(2) 数量的スキル
自然や社会的現象について、シンボルを活用して分析し、理解し、表現することができる。

(3) 情報リテラシー
情報通信技術(ICT)を用いて、多様な情報を収集・分析して適正に判断し、モラルに則っ
て効果的に活用することができる。

(4) 論理的思考力
情報や知識を体系的、論理的に分析し、表現できる。

(5) 問題解決力
問題を発見し、解決に必要な情報を収集・分析・整理し、その問題を確実に解決できる。

2010年8月14日 Copyright (C) 2010 Fujie Okuma 75

「学士力」 4-3

3. 態度・志向性

(1) 自己管理力
自らを律して行動できる。

(2) チームワーク、リーダーシップ
他者と協調・協働して行動できる。また、他者に方向性を示し、目標の達成のために
動員できる。

(3) 倫理観
自己の良心と社会の規範やルールに従って行動できる。

(4) 市民としての社会的責任
社会の一員としての責任感を持ち、義務と権利を適正に行使しつつ、社会の発展のため
に積極的に関与できる。

(5) 生涯学習力
卒業後も自律・自立して学習できる。

2010年8月14日 Copyright (C) 2010 Fujie Okuma 76

「学士力」 4-4

4. 統合的な学習経験と創造的思考力

これまでに獲得した知識・技能・態度等を総
合的に活用し、自らが立てた新たな課題にそれ
らを適用し、その課題を解決する能力

2010年8月14日 Copyright (C) 2010 Fujie Okuma 77

英国の高等教育
における
エンプロイアビリティの育成

2010年8月14日 Copyright (C) 2010 Fujie Okuma 78